

平成29年度「東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査(第2学年対象)」結果一覧

練馬区立貫井中学校

◆ 学力調査の結果(正答率) 7/6(木)

教科	A 教科の内容												B 読み解く力								AとBの合計	
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 話す・聞く		技能 書く		知識・理解 言語		読む		合計		取り出す力		読み取る力		解決する力		合計		合計	
	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都	学年	東京都
国語	97.3%	96.9%	67.4%	69.9%	74.2%	70.2%	76.3%	77.0%	62.0%	56.9%	74.1%	73.1%	73.4%	69.7%	73.9%	71.8%	81.5%	78.4%	75.5%	72.4%	74.3%	73.0%
社会	91.8%	94.0%	47.8%	44.3%	57.5%	55.2%	52.0%	58.3%			56.6%	56.6%	64.7%	64.6%	56.5%	57.0%	48.4%	43.3%	56.5%	54.9%	56.6%	56.2%
数学	79.9%	85.7%	51.9%	48.1%	57.0%	59.6%	64.1%	61.3%			59.2%	60.2%	43.1%	29.3%	27.9%	37.6%	26.1%	36.8%	33.2%	35.3%	52.0%	53.3%
理科	84.2%	89.0%	50.4%	48.3%	80.4%	74.6%	52.7%	54.2%			57.5%	57.2%	72.3%	78.5%	23.4%	31.6%	47.8%	53.7%	47.8%	54.6%	55.3%	56.6%
英語	82.1%	91.4%	45.1%	49.1%	69.2%	66.8%	61.2%	65.5%			63.3%	65.3%	62.5%	63.5%	77.2%	77.5%	55.4%	50.0%	65.0%	63.7%	63.7%	65.0%

◆ 教科等の合計正答率(A、B) 7/6(木)

	学年	東京都	分析(身に付いている力・課題等)	改善策・取組
国語	74.3%	73.0%	都と比較して、[A 教科の内容]は、関心・意欲・態度は0.4ポイント、技能は4ポイント、読むは5.1ポイント上回るものの思考・判断・表現や知識・理解は都の平均をわずかに下回っている。[B 読み解く力]は、取り出す力が3.7ポイント、読み取る力が2.1ポイント、解決する力が3.1ポイント上回る。A・Bの合計でも、1.3ポイント上回っている。	都と比較してA 思考・判断・表現の話す・聞く能力、知識・理解の言語能力が多少劣る。身近な題材や社会生活について話し合いの場を設け、聞き手を納得させる意見や主張をみんなの前で発表させることで話す・聞くの能力を身につけさせる。また、言語の知識・理解を高めるために、小テストなどを繰り返し行い、定着を図る。
社会	56.6%	56.2%	都と比較して、[A 教科の内容]は、思考・判断・表現は3.5ポイント、技能は2.3ポイント、上回るものの関心・意欲・態度や知識・理解は都の平均を下回っている。[B 読み解く力]は、取り出す力が0.1ポイント、解決する力が5.1ポイント上回る。一方で、読み取る力は、0.5ポイント下回った。	社会的な基礎的な思考力はあるものの、特に知識・理解と関心・意欲・態度が十分に育っていないことが分かった。発問や問題提起を工夫した授業展開を試み、関心・意欲を揺さぶりながら基本的な知識・理解を育てていきたい。
数学	52.0%	53.3%	都と比較して、A 教科の内容 思考・判断・表現は3.8ポイント、知識・理解は2.8ポイント上回る。B 読み取る力 取り出す力は13.8ポイント上回る。	都と比較してB 読み取る力が9.7ポイント、解決する力は10.7ポイント劣る。自分の考えなどを筋道をたて、表現する力を身につけさせたい。そのために、ノートにまとめたり、発表したりする活動を授業に取り入れる。
理科	55.3%	56.6%	都と比較して、Aが0.3ポイント上回り、Bは6.8ポイント下回った。[A 教科の内容]は、思考・判断・表現は2.1ポイント、技能は5.8ポイント、都の平均を上回るものの関心・意欲・態度や知識・理解は4.8ポイント、知識・理解は1.5ポイント都の平均を下回っている。[B 読み解く力]は、取り出す力が6.2ポイント、読み取る力は、8.2ポイント、解決する力が5.9ポイントと全ての項目が都の平均を上回っている。	分析から都と比較して、Bの力が身に付いていないことが分かる。さらに、Aの観点別の結果から、知識理解の力が身に付いていないことがわかる。このことから、改善策として、単元ごとに章末問題やパラプリントを授業の中で取り扱い、授業の内容をそれらの問題練習を通して確実に定着させたい。また、身近な例を挙げながら、スモールステップの授業展開を行い、生徒の関心・意欲を高めたい。
英語	63.7%	65.0%	都と比較して、A 教科の内容 技能書くは2.4ポイント上回り、B 読み取る力 解決する力は5.4ポイント上回った。A教科の内容では都を下回っているが、B 読み取る力合計では都を上回っている。	都と比較してA教科の内容の話す・聞くが、4ポイント下回っている。音声内容を理解する力と自分の考えを伝える力を身につけさせたい。そのために、リスニング教材や発表したりする活動を授業に取り入れる。